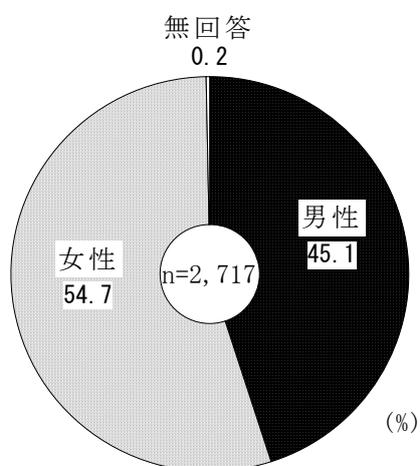


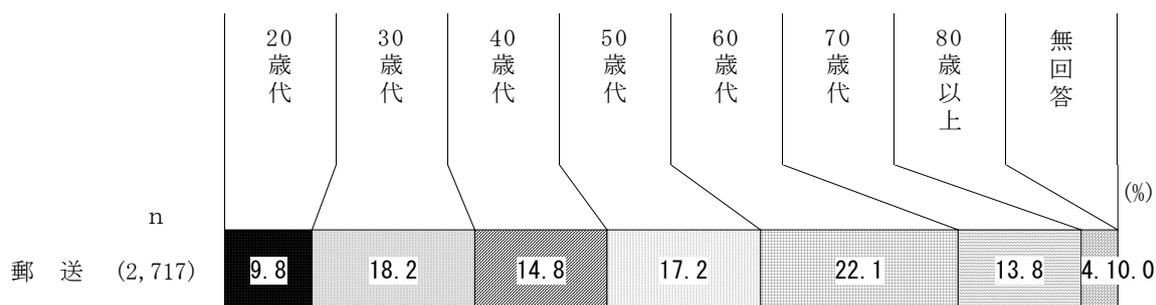
第2章 郵送調査結果

回答者の属性

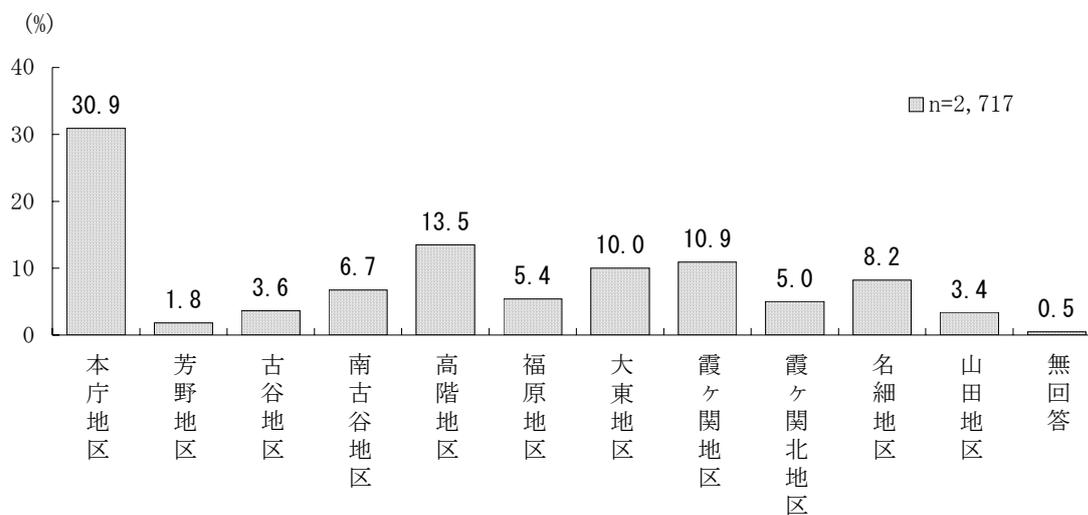
◆性別◆



◆年齢◆



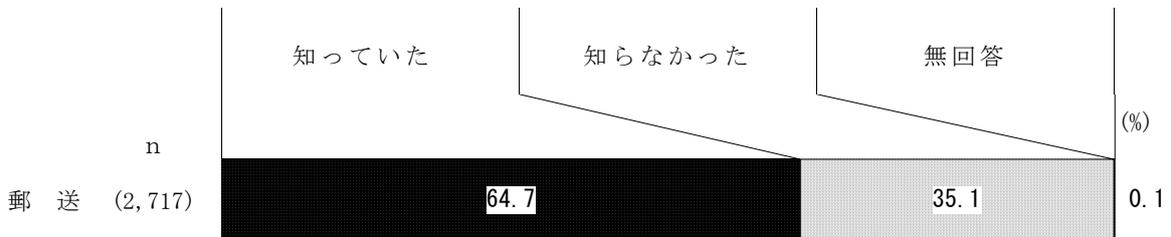
◆居住地区◆



1. 市庁舎を移転する考えに関する認知度

問4 このアンケートより前に、市庁舎を移転する考えがあることをご存知でしたか。 (○は1つ)

図表 1 - 1

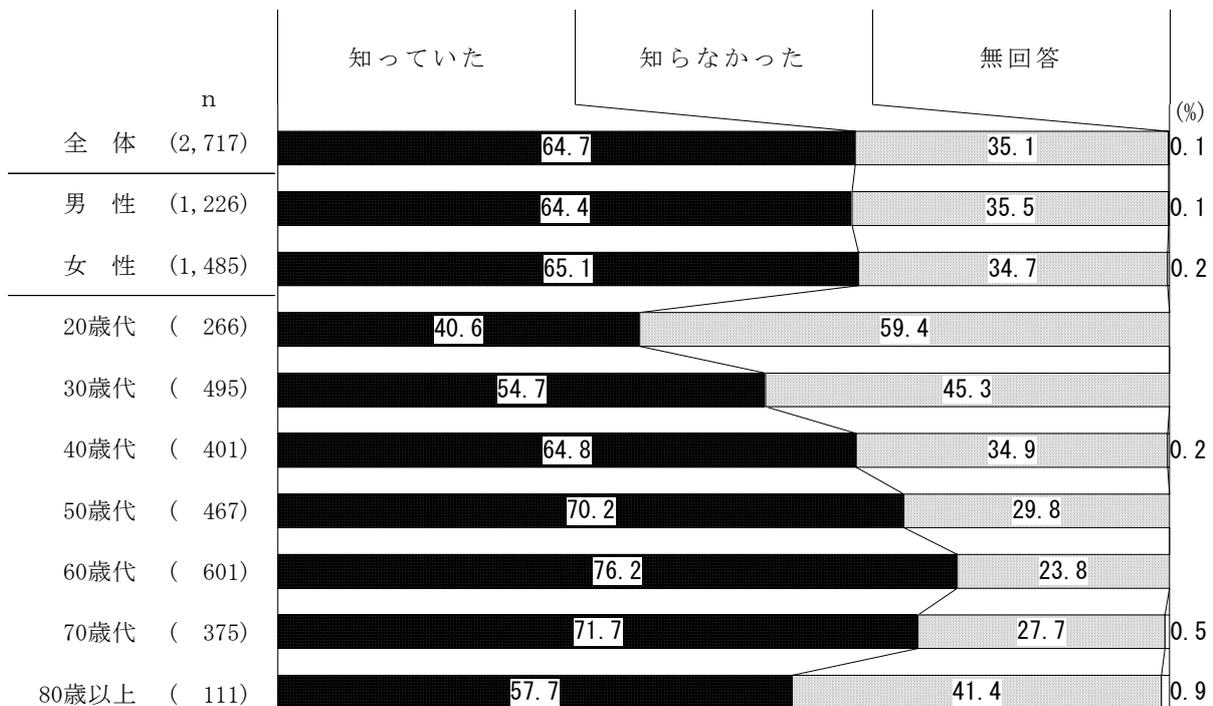


市庁舎を移転する考えに関する認知度は「知っていた」が64.7%、「知らなかった」は35.1%となっている（図表1-1）。

性別では、特に大きな差はみられない。

年齢別でみると、「知っていた」は30歳代以降で半数以上を占め、40歳代で6割台、50歳代から70歳代で7割台となっている。「知らなかった」は20歳代で約6割と唯一「知っていた」を上回っている（図表1-2）。

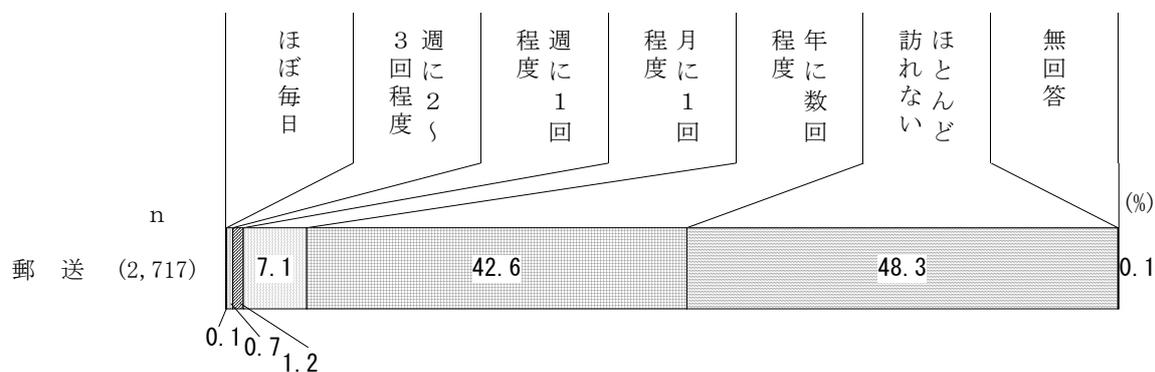
図表 1 - 2 性別、年齢別 市庁舎を移転する考えに関する認知度



2. 最近1年間での市庁舎の利用頻度

問5 最近、概ね1年間に、どのくらいの頻度で市庁舎に訪れましたか。
 (○は1つ)

図表2-1

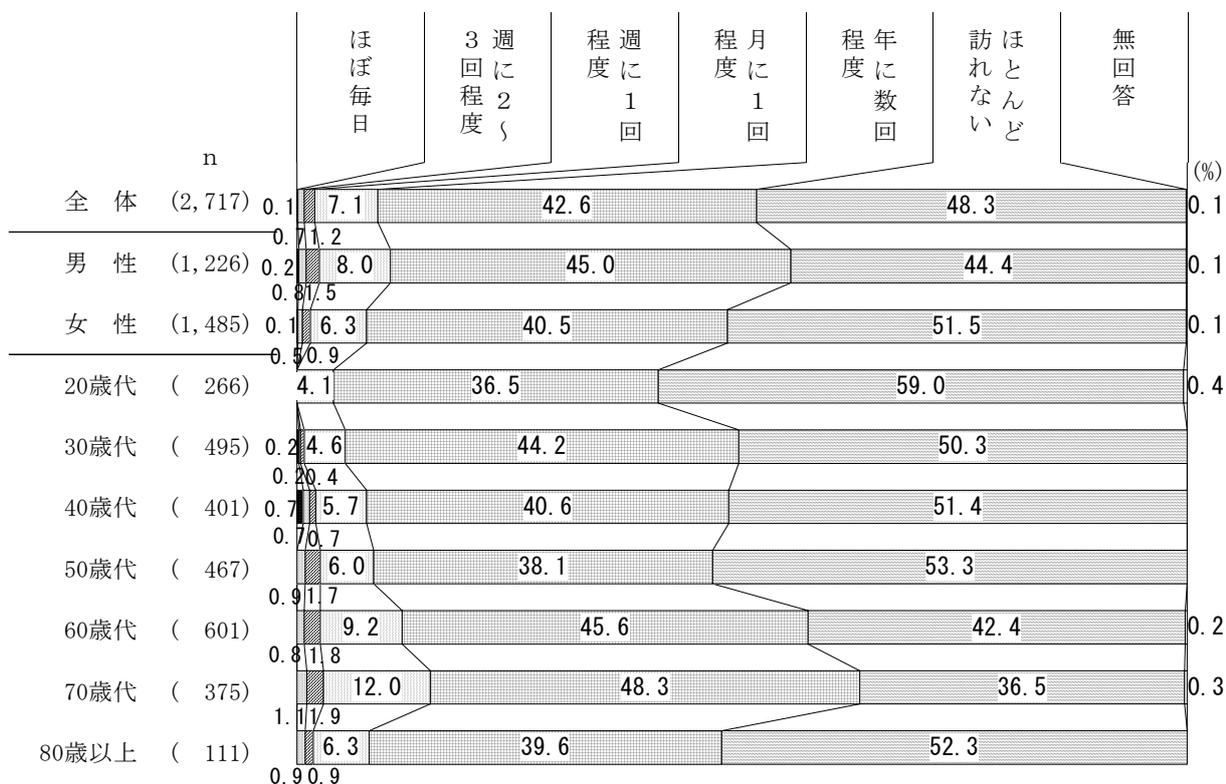


最近、1年間に市庁舎を訪れた回数は、「年に数回程度」が42.6%で、「月に1回程度」は7.1%、「週に1回程度」から「ほぼ毎日」の人は2.0%となっている。一方、「ほとんど訪れない」は48.3%となっている（図表2-1）。

性別で見ると、「年に数回程度」は男性（45.0%）が女性（40.5%）を5ポイント上回っており、男性の方がやや利用頻度が高い。一方、「ほとんど訪れない」は女性（51.5%）が男性（44.4%）を7ポイント上回っている。

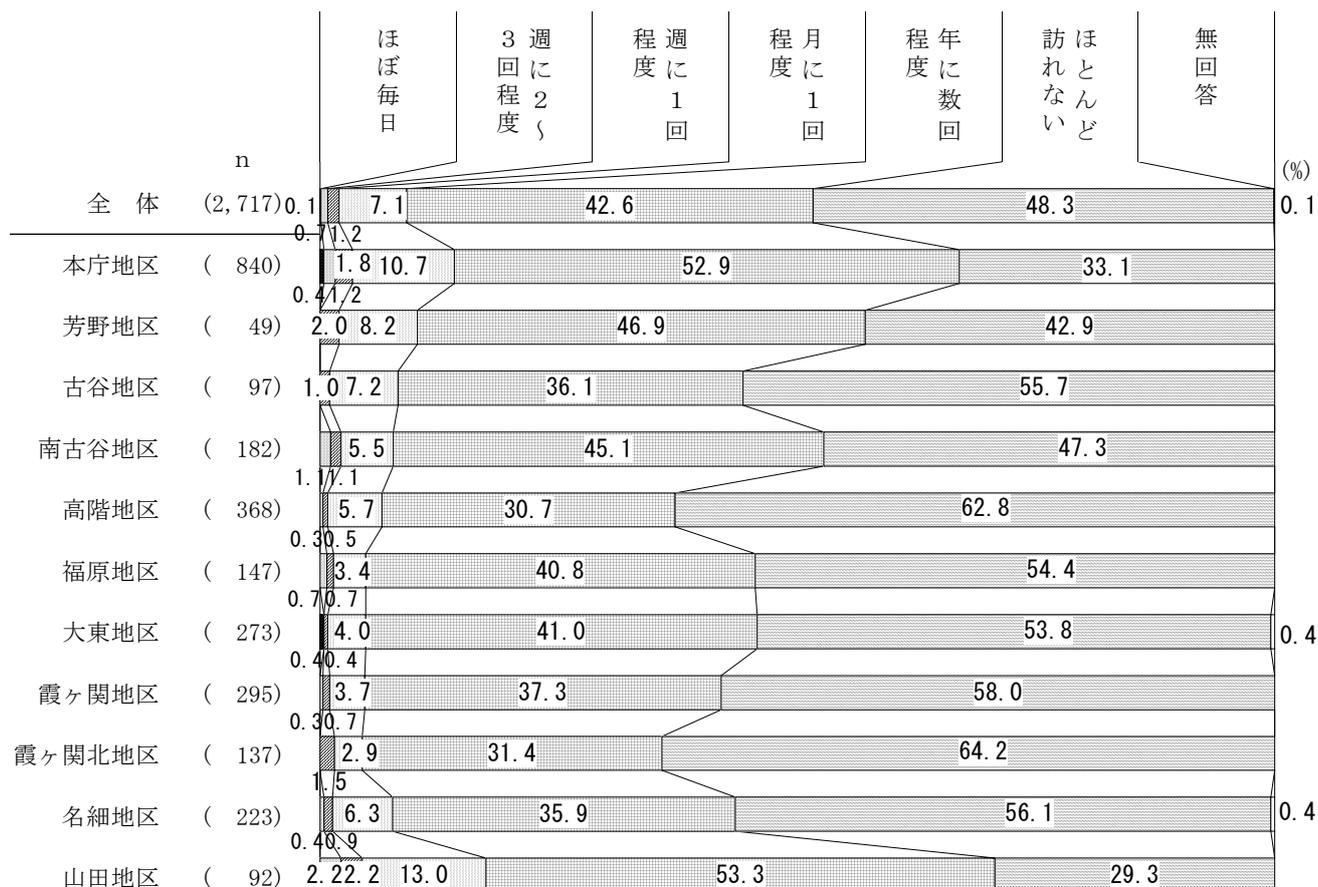
年齢別で見ると、「年に数回程度」は30歳代、40歳代、60歳代、70歳代で4割台を占めている。60歳代、70歳代では「月に1回程度」が1割前後となり、他の年代に比べて利用頻度が高い。一方、「ほとんど訪れない」は20歳代から50歳代、80歳以上で5割以上を占めている（図表2-2）。

図表2-2 性別、年齢別 最近1年間での市庁舎の利用頻度



地区別で見ると、「年に数回程度」は各地区で3割以上となっており、山田地区と本庁地区では半数以上を占めている。山田地区と本庁地区では「月に1回程度」も1割台となり、他の地区に比べて利用頻度が多い。一方、「ほとんど訪れない」は霞ヶ関北地区、高階地区、霞ヶ関地区、名細地区、古谷地区、福原地区、大東地区で5割以上を占めている（図表2-3）。

図表2-3 地区別 最近1年間での市庁舎の利用頻度

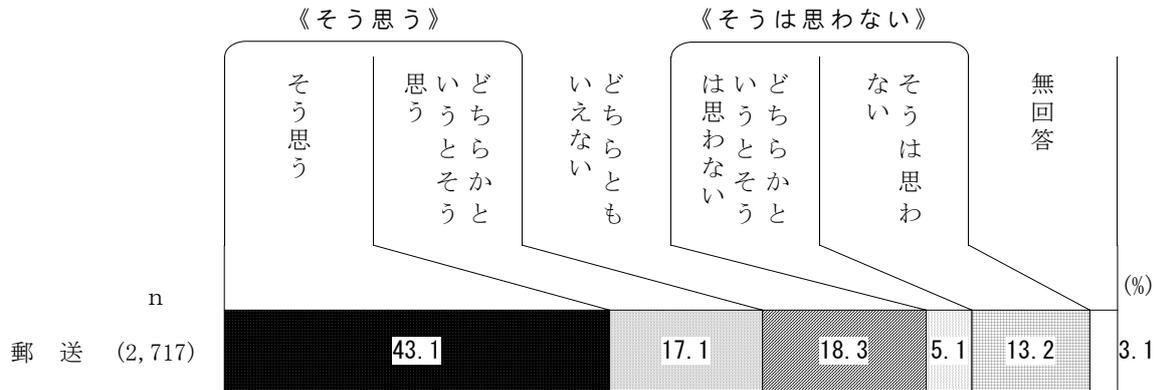


3. 新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思うか

問6 新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思いますか。

(○は1つ)

図表 3-1

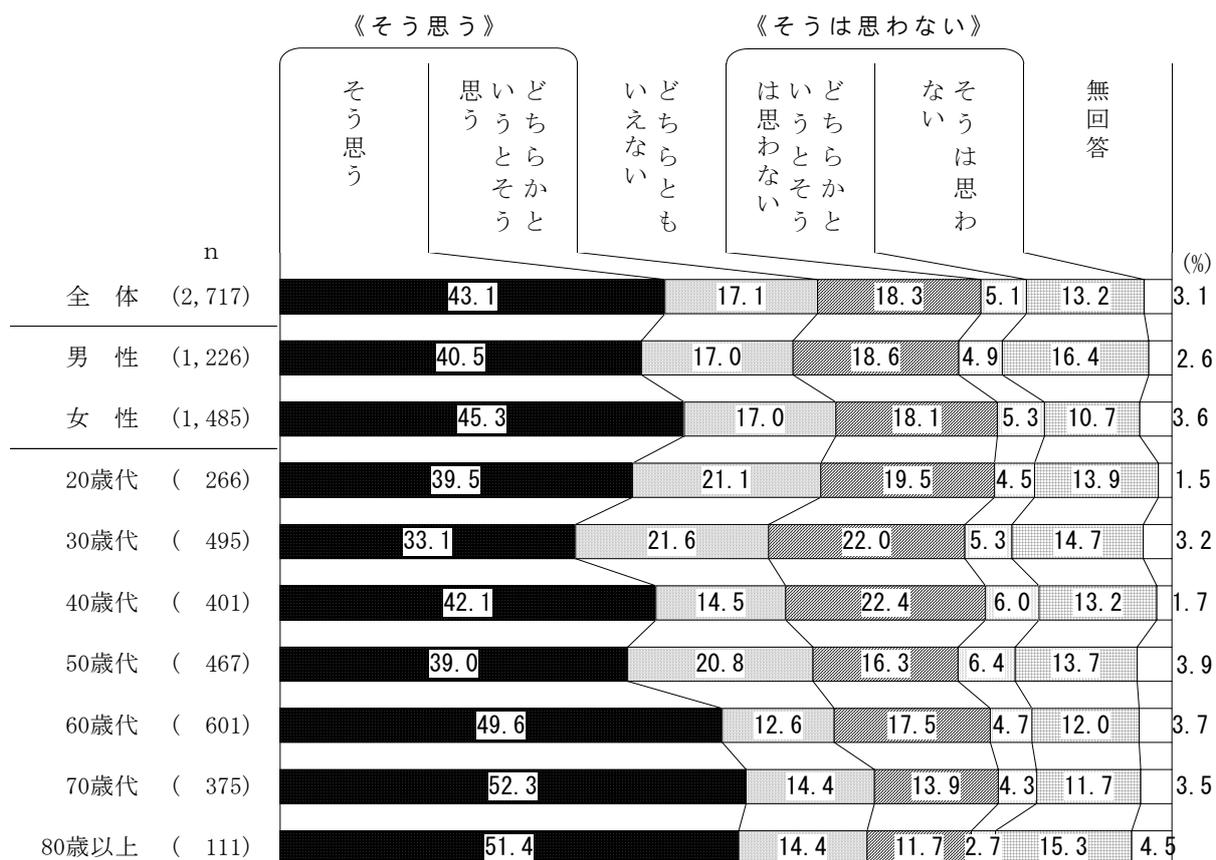


新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思うかということに「そう思う」は43.1%、「どちらかというそう思う」は17.1%となっており、両者をあわせた《そう思う》は60.2%となっている。一方、「そうは思わない」(13.2%)と「どちらかというそうは思わない」(5.1%)をあわせた《そうは思わない》は18.3%となっている(図表3-1)。

性別で見ると、《そう思う》は女性（62.3%）が男性（57.5%）を、《そうは思わない》は男性（21.3%）が女性（16.0%）をそれぞれ5ポイント上回っている。

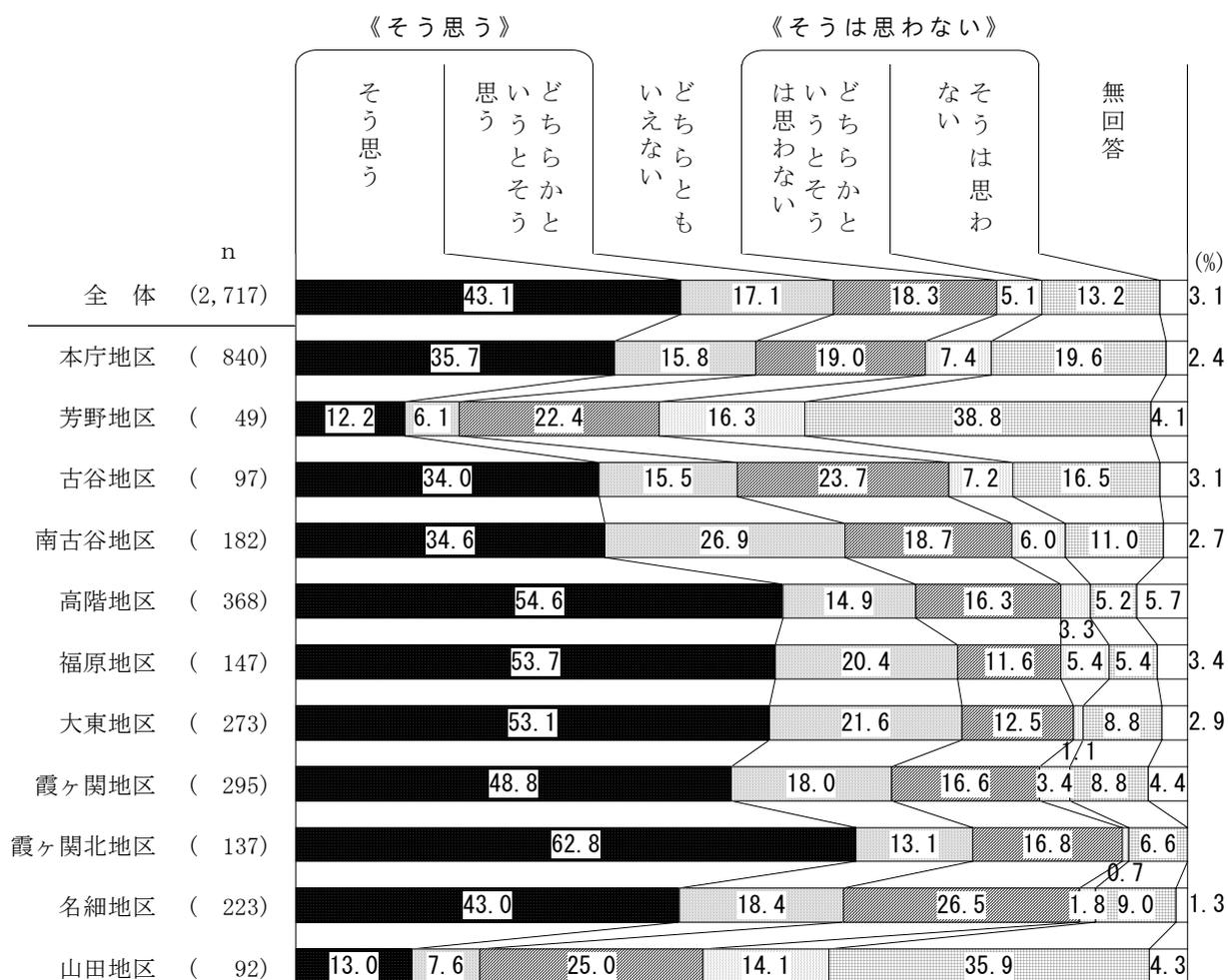
年齢別で見ると、《そう思う》はいずれの年代でも半数以上を占め、20歳代と60歳代以降では6割台を占めている。《そうは思わない》は30歳代と50歳代で2割台となっている（図表3-2）。

図表3-2 性別、年齢別 新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思うか



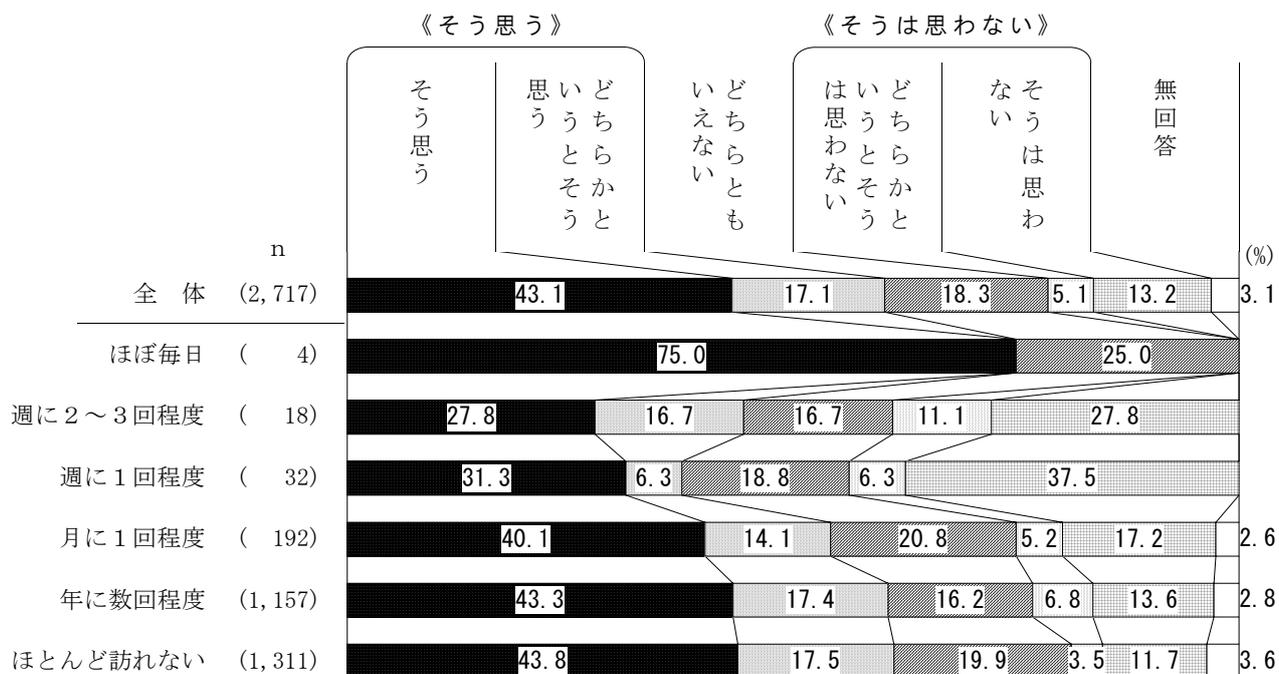
地区別でみると、《そう思う》は、霞ヶ関北地区（75.9%）、大東地区（74.7%）、福原地区（74.1%）が7割台、高階地区（69.5%）、霞ヶ関地区（66.8%）、南古谷地区（61.5%）、名細地区（61.4%）が6割台と高くなっている。一方、《そうは思わない》は、芳野地区（55.1%）、山田地区（50.0%）で5割台を占めている（図表3-3）。

図表3-3 地区別 新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思うか



市庁舎の利用頻度別でみると、《そう思う》は“月に1回程度”、“年に数回程度”、“ほとんど訪れない”で5割から6割台を占め、《そうは思わない》を大きく上回っている。全体として利用頻度の低い層で《そう思う》の割合が多い傾向となっている（図表3-4）。

図表3-4 利用頻度別 新しい市庁舎の場所は川越駅西口がよいと思うか

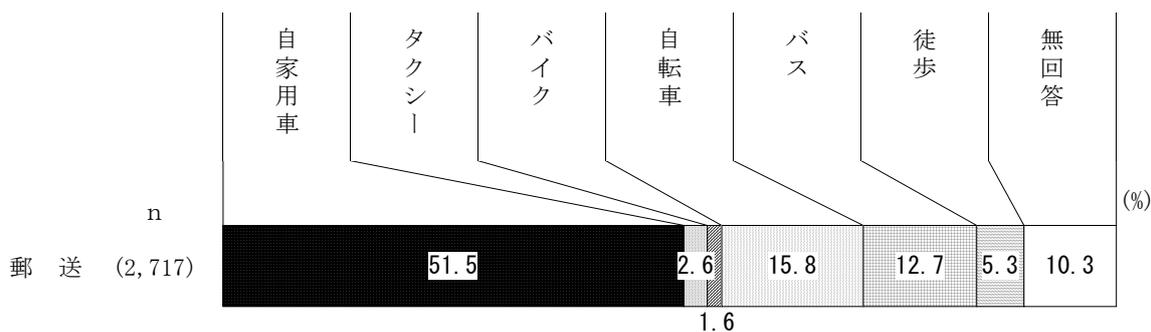


4. 現在の市庁舎までの主な交通手段

問7 交通手段（問5で「ほとんど訪れない」を選択された場合には、仮に訪れるとした場合の交通手段）をご回答ください。

（1）現在の市庁舎までの主な交通手段は、何ですか。（○は1つ）

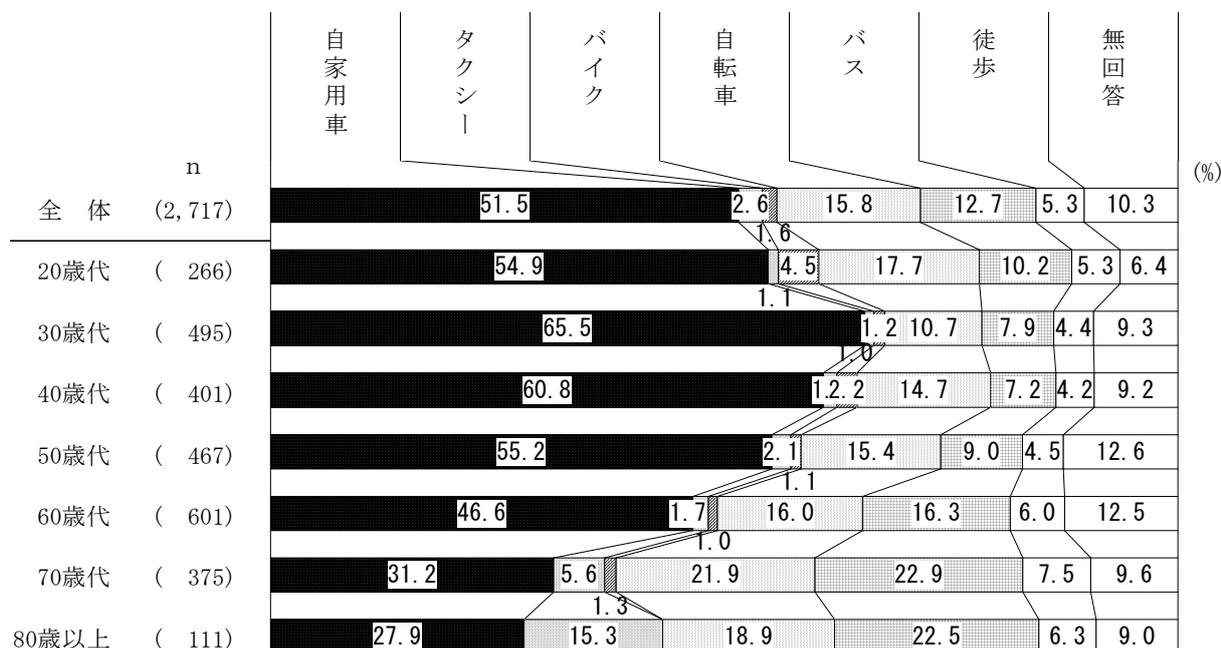
図表4-1



現在の市庁舎までの主な交通手段は「自家用車」が51.5%と半数を超えている。この他に「自転車」(15.8%)、「バス」(12.7%)が1割台となっている(図表4-1)。

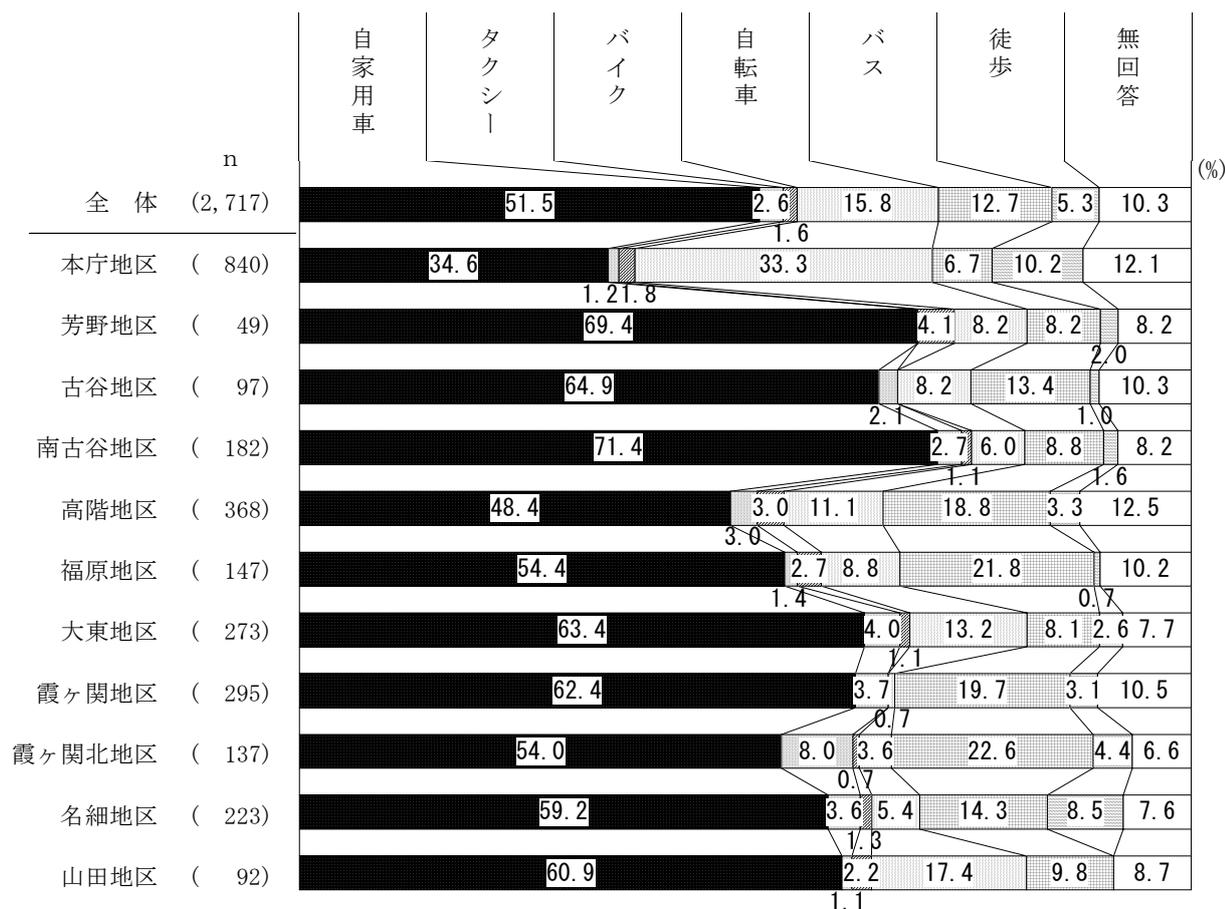
年齢別でみると、いずれの年代でも「自家用車」が最も多くなっているが、年齢があがるとともに割合が少なくなる傾向がみられる。「自転車」はいずれの年代でも1割以上となっており、70歳代以降では2割前後となっている。「バス」は高齢者で多くなっており、70歳代以降で2割強となっている(図表4-2)。

図表4-2 年齢別 現在の市庁舎までの主な交通手段



地区別で見ると、いずれの地区でも「自家用車」が最も多く、特に南古谷地区と芳野地区では7割前後、古谷地区、大東地区、霞ヶ関地区、山田地区でも6割台を占めている。本庁地区は34.6%と他の地区と比べ少なく、「自転車」が33.3%と比較的多くなっている。この他、霞ヶ関北地区、福原地区、霞ヶ関地区、高階地区では「バス」が2割前後と比較的多くなっている（図表4-3）。

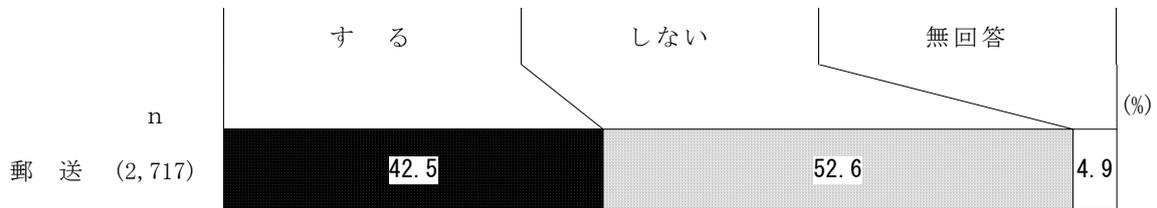
図表4-3 地区別 現在の市庁舎までの主な交通手段



5. 市庁舎を川越駅西口に移転した場合の電車やバスの利用

(2) 市庁舎を川越駅西口に移転した場合、電車やバスをご利用されますか。
(○は1つ)

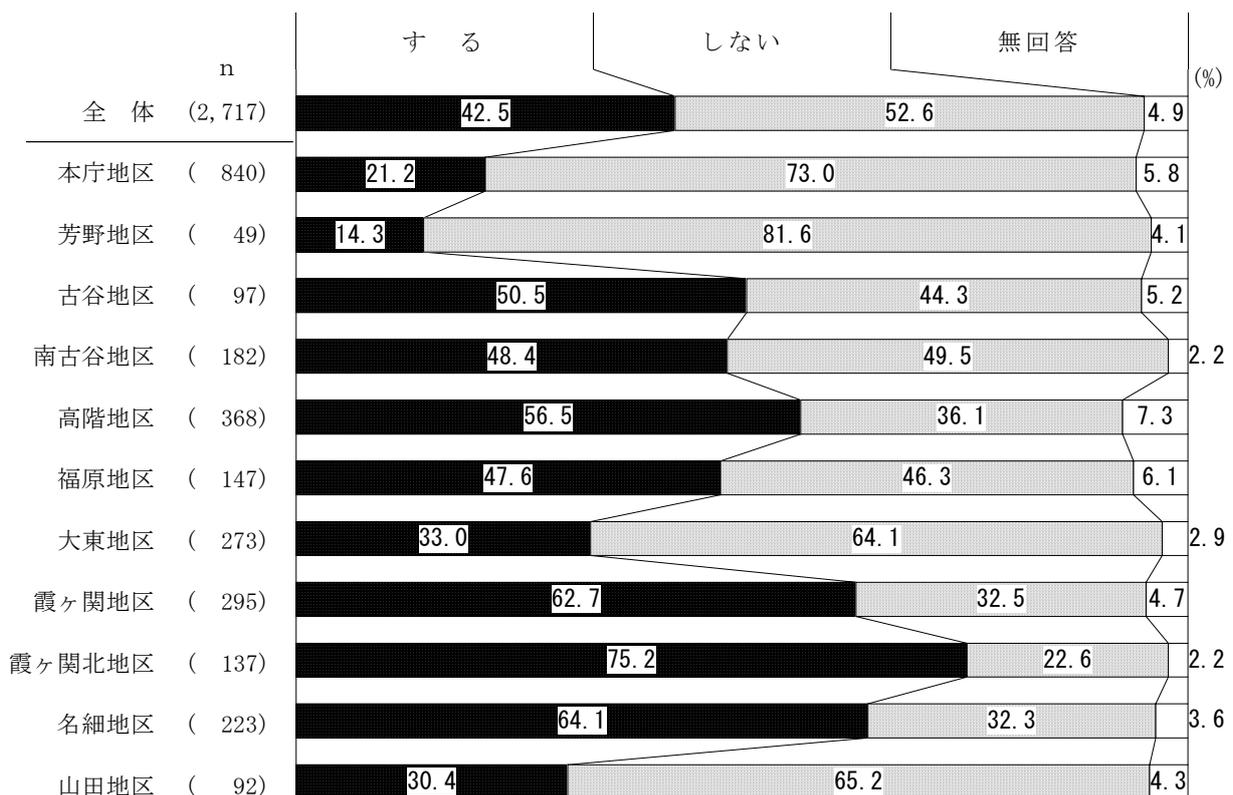
図表 5 - 1



市庁舎を川越駅西口に移転した場合の電車やバスの利用を「する」は42.5%、「しない」は52.6%となっており、利用しない人が利用する人を10ポイント上回っている(図表5-1)。

地区別で見ると、「しない」は芳野地区(81.6%)、本庁地区(73.0%)、山田地区(65.2%)、大東地区(64.1%)で「する」を大きく上回っている。「する」では、霞ヶ関北地区(75.2%)、名細地区(64.1%)、霞ヶ関地区(62.7%)は「しない」を大きく上回っている。また、高階地区、古谷地区も半数以上を占めている。なお、南古谷地区、福原地区では「する」と「しない」がほぼ2分している(図表5-2)。

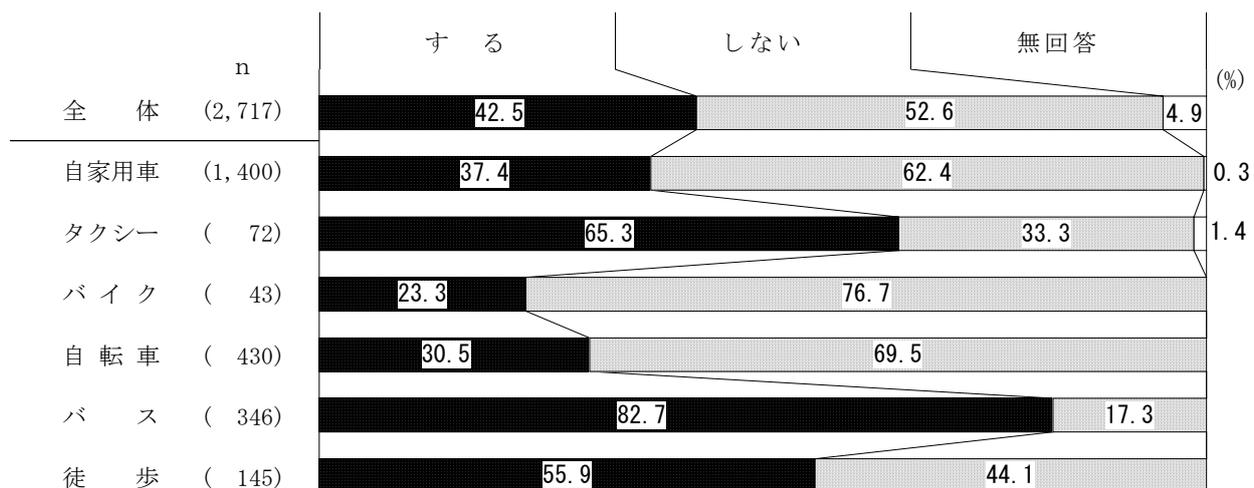
図表 5 - 2 地区別 市庁舎を川越駅西口に移転した場合の電車やバスの利用



現在の市庁舎までの主な交通手段別でみると、現在、自家用車を利用している人では「する」が37.4%となり、4割弱の人が公共交通機関の利用意向を示している。

この他の「する」に着目すると、バスが8割台、タクシーが6割台、徒歩が半数以上となっている（図表5-3）。

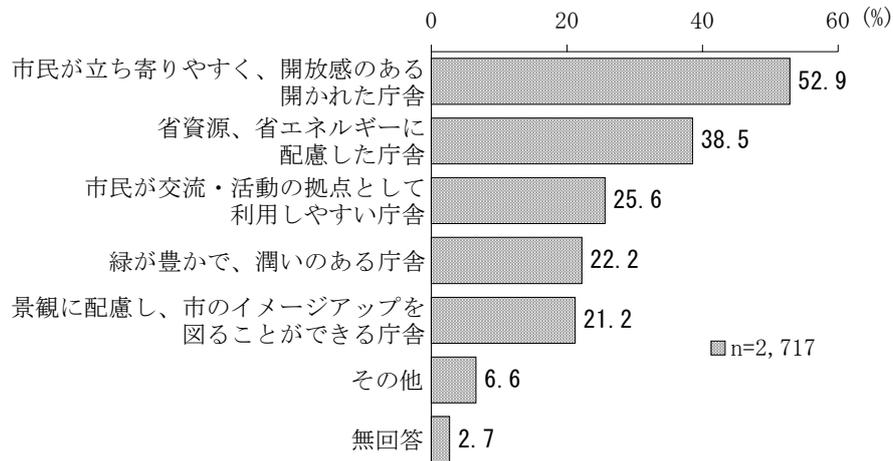
図表5-3 現在の市庁舎までの主な交通手段別
市庁舎を川越駅西口に移転した場合の電車やバスの利用



6. 新しい市庁舎の望ましいイメージ

問8 新しい市庁舎は、どのようなイメージが望ましいと思いますか。
(○は2つ以内)

図表6-1



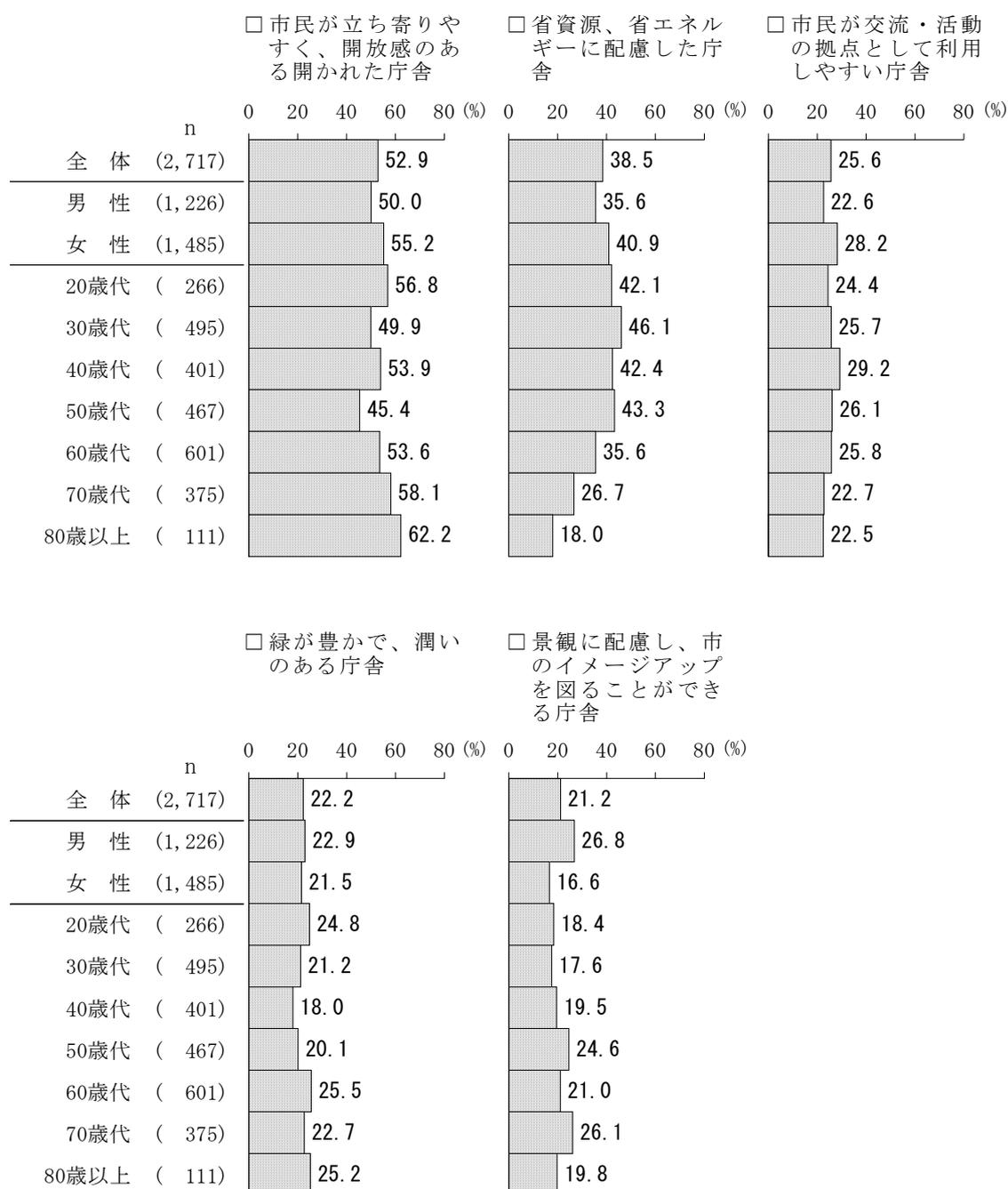
新しい市庁舎の望ましいイメージは、「市民が立ち寄りやすく、開放感のある開かれた庁舎」が52.9%で最も多く、以下、「省資源、省エネルギーに配慮した庁舎」(38.5%)、「市民が交流・活動の拠点として利用しやすい庁舎」(25.6%)、「緑が豊かで、潤いのある庁舎」(22.2%)、「景観に配慮し、市のイメージアップを図ることができる庁舎」(21.2%)と続いている(図表6-1)。

なお、「その他」の主なものとしては、“できるだけ予算を抑えシンプルで、使いやすいものがよい”、“バリアフリーへの取り組み”、“小江戸川越らしさ”などがあげられている。

性別で見ると、「市民が立ち寄りやすく、開放感のある開かれた庁舎」、「省資源、省エネルギーに配慮した庁舎」、「市民が交流・活動の拠点として利用しやすい庁舎」では女性が男性を5ポイント以上上回っている。一方、「景観に配慮し、市のイメージアップを図ることができる庁舎」は男性（26.8%）が女性（16.6%）を10ポイント上回っている。

年齢別で見ると、「市民が立ち寄りやすく、開放感のある開かれた庁舎」は各年代で多く、世代を超えた希望となっている。「省資源、省エネルギーに配慮した庁舎」は20歳代から50歳代までで4割台と多くなっている（図表6-2）。

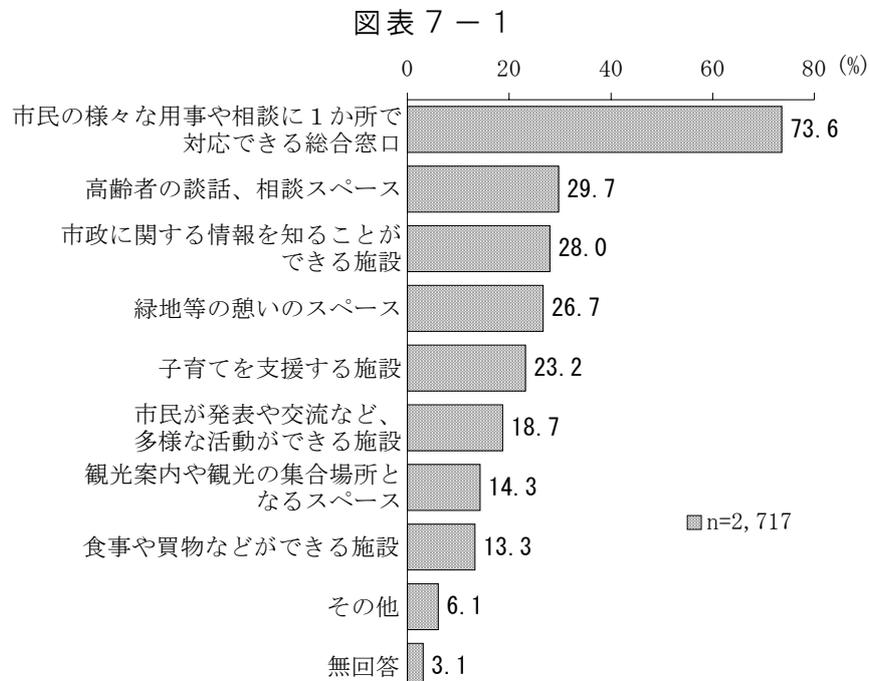
図表6-2 性別、年齢別 新しい市庁舎の望ましいイメージ



7. 新しい市庁舎に望む機能や施設

問9 新しい市庁舎にあるとよい機能や施設は何だと思いますか。

(○は3つ以内)



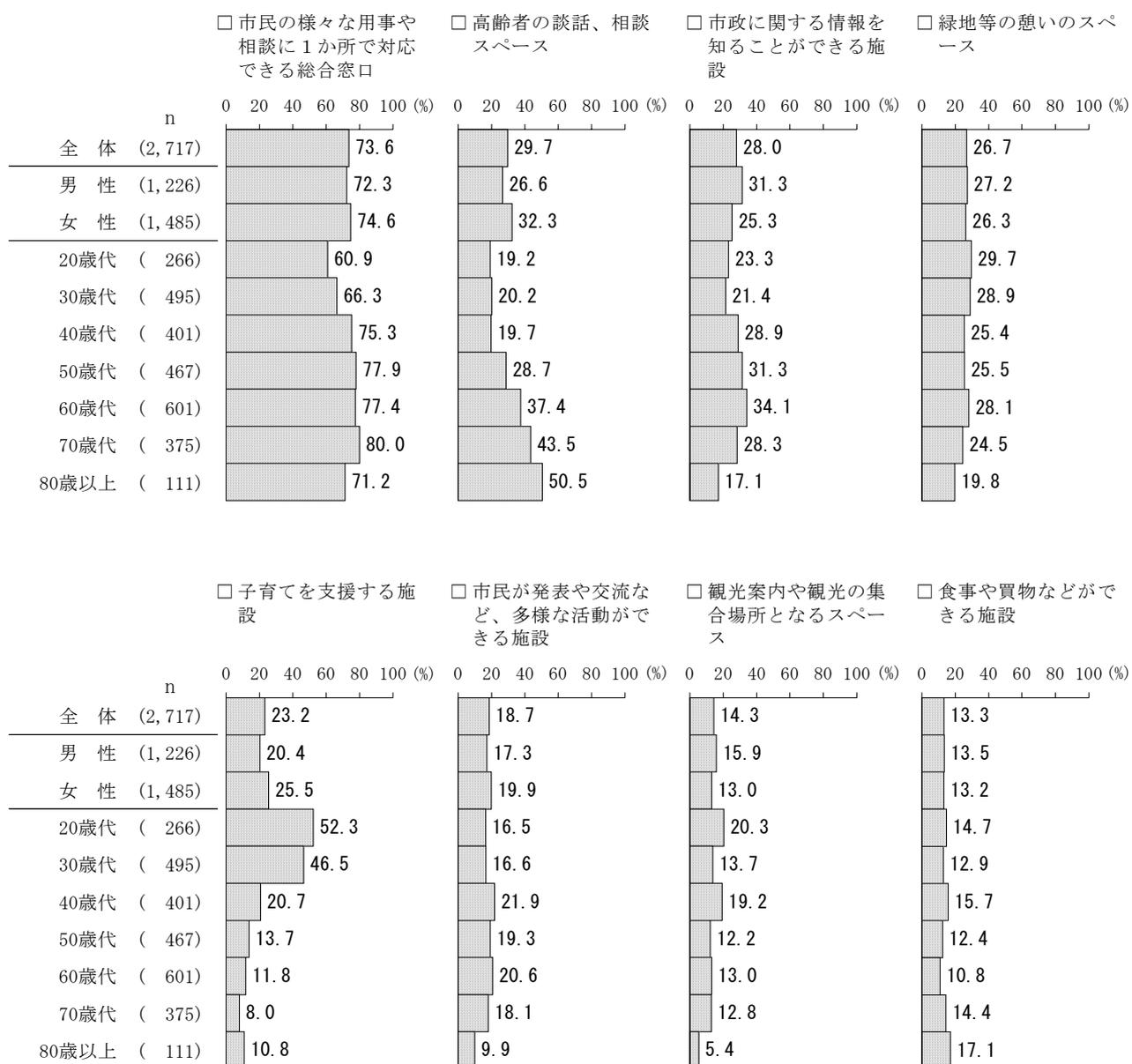
新しい市庁舎に望む機能や施設は、「市民の様々な用事や相談に1か所で対応できる総合窓口」が73.6%と特に多く、以下、「高齢者の談話、相談スペース」(29.7%)、「市政に関する情報を知ることができる施設」(28.0%)、「緑地等の憩いのスペース」(26.7%)、「子育てを支援する施設」(23.2%)などが2割台で続いている(図表7-1)。

なお、「その他」の主なものとしては、“駐車場”、“必要最低限のものでよい”、“スポーツ施設”、“インターネット環境”、“法律・年金などの相談コーナー”、“バリアフリーへの対応”、“ランドマーク的なもの”などがあげられている。

性別で見ると、「高齢者の談話、相談スペース」は女性（32.3%）が男性（26.6%）を、「市政に関する情報を知ることができる施設」は男性（31.3%）が女性（25.3%）をそれぞれ6ポイント上回っている。

年齢別で見ると、「市民の様々な用事や相談に1か所で対応できる総合窓口」はいずれの年代からも最も多くあげられている。「高齢者の談話、相談スペース」は60歳代以降で多くなっており、80歳以上では5割台となっている。「子育てを支援する施設」は20歳代で5割台、30歳代で4割台と多くなっている（図表7-2）。

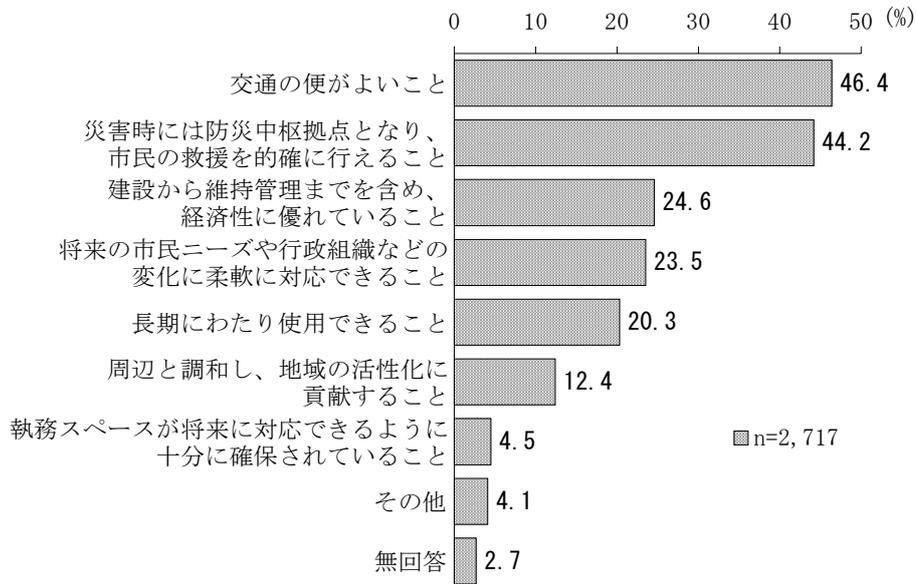
図表7-2 性別、年齢別 新しい市庁舎に望む機能や施設



8. 新しい市庁舎の建設で重視すべきこと

問10 新しい市庁舎を建設する場合、重視しなければならないことは何だと思いますか。
(○は2つ以内)

図表 8 - 1



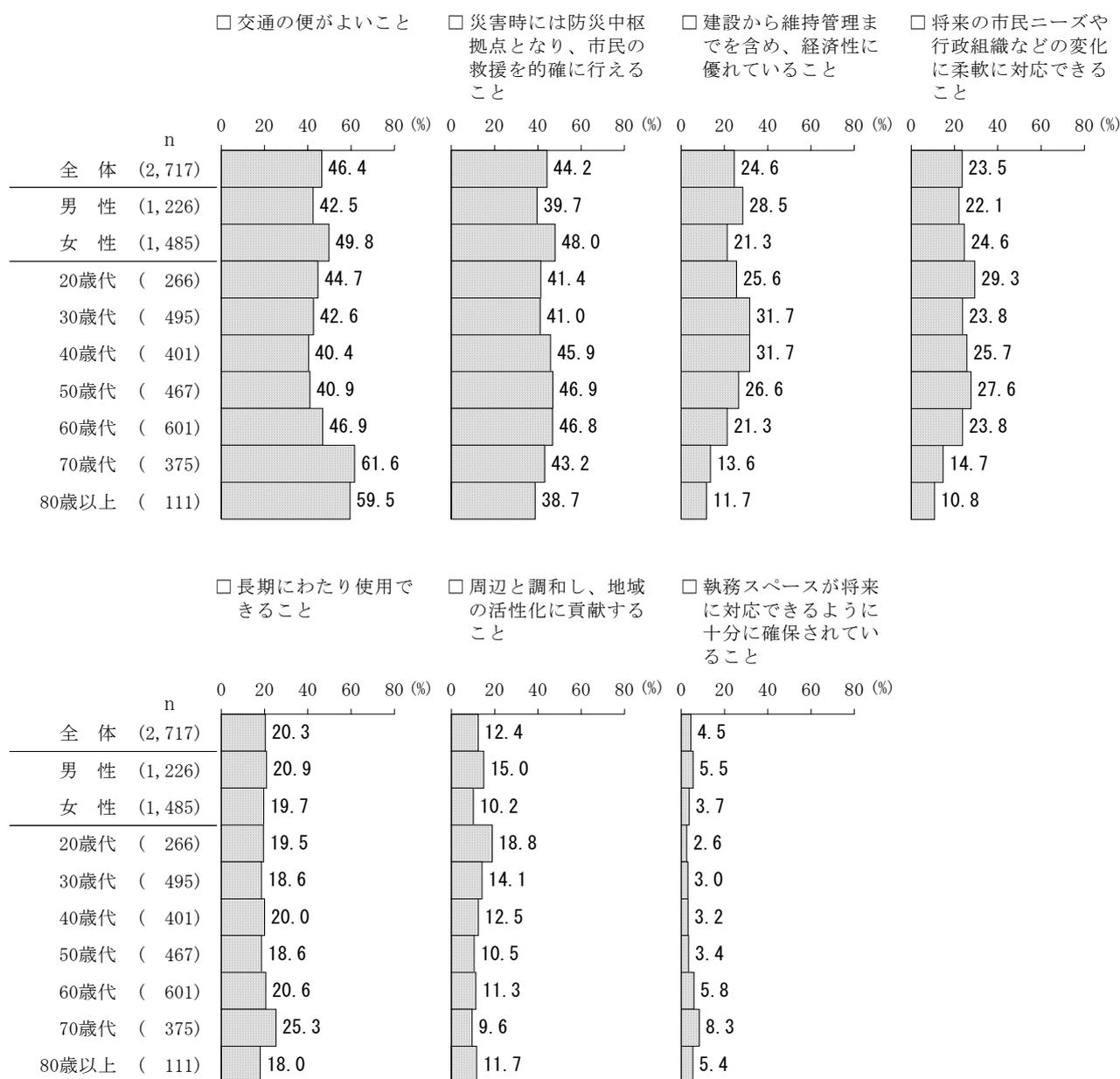
新しい市庁舎の建設で重視すべきことは、「交通の便がよいこと」(46.4%)、「災害時には防災中枢拠点となり、市民の救援を的確に行えること」(44.2%)で、この2項目が4割台で多くなっている。以下、「建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること」(24.6%)、「将来の市民ニーズや行政組織などの変化に柔軟に対応できること」(23.5%)、「長期にわたり使用できること」(20.3%)などが2割台が続いている(図表8-1)。

なお、「その他」の主なものとしては、“建設・維持のコスト”、“現状維持・今のままでよい”、“十分な駐車場”などがあげられている。

性別で見ると、「災害時には防災中樞拠点となり、市民の救援を的確に行えること」は女性(48.0%)が男性(39.7%)を8ポイント、「交通の便がよいこと」は女性(49.8%)が男性(42.5%)を7ポイント上回り、「建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること」は男性(28.5%)が女性(21.3%)を7ポイント上回っている。

年齢別で見ると、「交通の便がよいこと」は特に70歳代以降の年代で6割前後と多くなっている。「建設から維持管理までを含め、経済性に優れていること」は30歳代、40歳代で3割台と比較的多くなっている(図表8-2)。

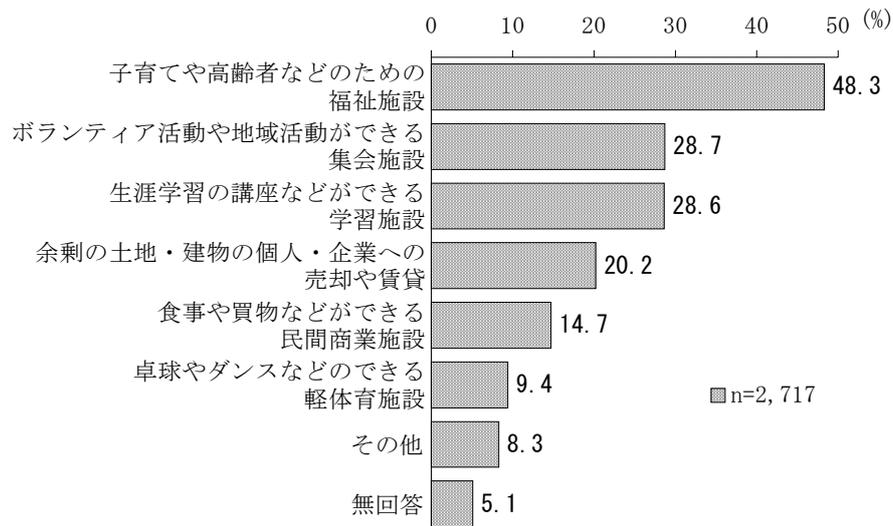
図表8-2 性別、年齢別 新しい市庁舎の建設で重視すべきこと



9. 移転後の現在の市庁舎の活用

問 11 市庁舎を移転した場合には、現在の市庁舎に市役所の窓口機能を残し、観光拠点等として有効活用を図るよう検討していく予定ですが、それ以外にどのように活用したらよいと思いますか。(〇は2つ以内)

図表 9 - 1



移転後の現在の市庁舎の活用は、「子育てや高齢者などのための福祉施設」が48.3%で最も多く、「ボランティア活動や地域活動ができる集会施設」(28.7%)、「生涯学習の講座などができる学習施設」(28.6%)、「余剰の土地・建物の個人・企業への売却や賃貸」(20.2%)などが2割台で続いている(図表9-1)。

なお、「その他」の主なものとしては、“駐車場”、“移転反対”、“公園”などがあげられている。

性別で見ると、「子育てや高齢者などのための福祉施設」は女性(52.6%)が男性(43.2%)を9ポイント、「余剰の土地・建物の個人・企業への売却や賃貸」は男性(24.6%)が女性(16.6%)を8ポイント上回っている。

年齢別で見ると、「子育てや高齢者などのための福祉施設」はいずれの年代でも4割から5割台で、最も多くあげられている。「ボランティア活動や地域活動ができる集会施設」は50歳代と60歳代で3割台、「余剰の土地・建物の個人・企業への売却や賃貸」は40歳代から60歳代で2割台と他の年代より高くなっている。「食事や買物などができる民間商業施設」は80歳以上では約3割と多くなっている(図表9-2)。

図表9-2 性別、年齢別 移転後の現在の市庁舎の活用

